

3月11日、新装開店。

「そんなに頑張るヤツだったっけ？」昔の私を揶揄して、同僚たちは言う。べつにサボっていたわけじゃない。ただ、やるべきことしか、やっていなかった。私は受身の人間だったのだ。転機は、店長を任されたこと。しかも新装リニューアル店舗。不動産から人のことまですべてを任された。何をやるにしても、力が足りない。しんどかった。背伸びしながら、ようやく辿りついたオープン日は、3月11日。そう、あの日である。最初、地震ではなく頭が揺れているのかと思った。疲れでフラフラ。それでも、現場は動いていた。充電機を貸してさしあげる。水を飲んで休んでいただく。そこには、マニュアルにない対応に奔走するスタッフの姿があった。私には卓越した能力もなければ、親分肌でもない。地味なタイプだ。そんな私が、リーダーとしてふさわしいのかどうか、疑問だった。「形にとらわれる必要なんかない」スタッフの懸命な姿に、疑問は吹き飛んだ。私は私の道をいけばいい。店舗と、私たちの新装開店。3月11日は、そんな忘れられない日です。

